



夏休みを振り返ろう！

夏休みをどのように過ごしたか、チェックしてみよう！

夏休みが終わったら、下の項目でできたものの□に○、できなかったものの□に×を書いてみましょう。

- 毎日、家庭学習に取り組んだ
- 生活面や学習面の目標を立て、達成できた
- テレビやインターネットの時間は、夏休み前と夏休み中で差がなかった
- 夏休みの宿題は残さず終えた
- 生活リズムをくずさず、夏休み前と同じように規則正しい生活を送れた

○が多ければ多いほど、よい夏休みの過ごし方だったといえます。×が多かった場合、「生活リズムがくずれている」「家庭学習の習慣が乱れている」などが考えられます。この見直しをふまえて、休み明けはどのように過ごしていくのがよいか、考えてみましょう。

秋はこんなことが起こりやすい！

①夏休み中の不規則な生活が元に戻らない

②授業に集中できず、やる気が起きない



③授業のスピードが上がりについていけない

④勉強が難しくなり理解できない

生活リズムが変わったり、夏休み前までのやる気などがリセットされたりするほか、勉強面でも応用的な内容が増えたり、授業のスピードが速まったりして、つまずきやすくなります。



◎生活リズムを夏休み前の状態に戻しましょう。

◎塾での学習の継続をしましょう。

◎家庭学習の継続をしましょう。



10月スケジュール

- 10月 1日(土) 中3総合B対策模試
- 10月 4日(火) 定例生徒カウンセリングスタート
- 10月13日(木) 中3学力テスト総合B
- 10月22日(土) 中3北海道学力コンクール
- 10月29日(土) と31日(月) は5週目ですが振替授業があります。

↓過去の情熱通信はこちらから！



愚か者の法則

愚か者の法則とは「毎日同じことを繰り返しながら、違う結果を期待することである。」

今月も朝倉千恵子さんの言葉をお借りさせていただきました。(朝倉先生、いつもありがとうございます)

上記の言葉をVoicyで拝聴したとき、大きくうなずいている自分がいました。同じ行動を繰り返しているだけでは、結果は同じ。一番のライバルである昨日の自分と、少しだけ行動を変えることによって、結果が少しだけ変わる。ほんの少しの変化を繰り返すと、後に大きな変化となり、自己成長を感じられるのかもしれませんが。

昨日よりも1問だけ多く問題を解いてみる。昨日より1分だけ長く勉強を試みる。昨日より1タスクだけ多くMonoxerをやってみる。違う結果にするためにも、少しずつ行動を変化させていきたいものです。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

神無月とハロウィン

10月は「神無月(かんなづき/かみなしづき)」と呼ばれていました。神々が出雲の国に行ってしまう留守になるという意の「神なき月」が転訛(てんか)して「神無月」になったといわれています。

10月と言えばハロウィンですね。日本でも年々盛り上がり、仮装姿は秋の風物詩となっています。そもそも10月31日のハロウィン(Halloween)とは、11月1日の「諸聖人の日」「万聖節」(All Hallo)の前夜祭(All Hallo Eve)という意味で、紀元前5世紀頃にケルト人が行っていた祝祭に由来します。古代ケルトでは11月1日に暦が変わったので、10月31日は年の変わり目にあたり、収穫を祝うとともに悪魔祓いをするようになりました。悪魔祓いと言えば、お化けカボチャ「ジャック・オー・ランタン」が有名ですね。

釧路春採SC教室 安田 光則 TEL 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

定期ワクチンといえば

日本は60年以上にわたり狂犬病の発症がない国(清浄国)という、世界でも数少ない地域となっていることをご存知でしょうか? 愛犬家の方には、発症しない国なら毎年のワクチンは必要ないのでは?と思われるかもしれませんが、これはエキノコックスでも警戒されるキツネや、アライグマ、スカンクなどが輸入された際に狂犬病ウイルスを持ち込むこと、既にり患している他国の犬や人が持ち込むことなどが考えられるため、実施されています。定期的なワクチンの接種が再びの疫病のまん延を防ぐために実施されている例としては、好例ですね。

現状ではまん延することを予防するための接種となっていますが、いつかは新型コロナウイルス感染症のワクチンが、狂犬病のワクチンと同様になる日が来るのかもしれませんがね。

当別教室 平山 由香利 TEL 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

将棋の話

以前、私と名前が似ている藤井聡太氏について書いた時は彼は五段でしたが今や五冠です、この才能の一部でも欲しかった。さてその将棋ですが、起源は古代インドのチャトランガというボードゲームが世界に広がり、西洋ではチェスに東洋では中国のシャンチーやタイのマークルック、そして日本で将棋になった説が有力です。いずれも基本は戦争ゲームで将棋以外は持ち駒を失う=戦死を意味し駒の復活はないのですが、将棋だけは取られた駒は相手陣営として復活します。チェスやシャンチーの駒は人を表現しているので戦死ですが、将棋は将と付いていますが玉、金、銀、または馬や香、角や車、つまり財宝類を示唆していますので、取られた宝は相手の持ち物として復活するという訳です。日本はやはり軍事ではなく経済に向いているのかと思った次第です。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

個別指導という選択①

1982年、ベンジャミン・ブルームという教育心理学者が、ある研究を実施しました。それは、一般的な集団授業と個別指導では、どれだけ学習効果に差が生じるかというものでした。さて、その結果は驚くべきもので、2標準偏差もの差において個別指導を受けた生徒の方が高い成績を出せることが分かりました。2標準偏差というのは、たとえば集団授業で偏差値50を記録していた生徒が、もし個別指導を受けていたとしたら、偏差値70になっていたであろう、という水準です。これはただし、学校の授業をすべて個別指導に置き換えた場合の話ですから、もし塾で同様のことをしようとするれば、大変なコマ数になりますし、なんとか学校で同じことをしようとしたとしても単純に教師が足りないのです。効果があったとしても、現実的ではありません。(次号に続く)

中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

マイワシの思い出

子どものころ、よく釣りをしました。しかしその頃は、埠頭で釣った魚はまず食べられませんでした。重油のにおいが魚に染みついていたからです。海面には、所々に重油が浮かんでいるのが普通の風景だった記憶があります。ある時、マイワシをバケツ一杯釣り、喜び勇んで帰宅するも、煮ても焼いても重油のにおい。泣く泣く廃棄した思い出があります。時は流れ、現在はそうしたことは一切なくなりましたね。先日、西港でマイワシの回遊を確認したので、子どもらを連れて釣ってきました。小サバも交じって二百匹越えの爆釣!でした。昔とは違いとっても美味しくいただくことができました。公害問題が深刻化したのは60年代後半~70年代初めでした。その後、対策が進んでいるのでしょうかね。海や川は常にきれいであって欲しいと、改めて思った次第でした。

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏